



2023年3月期 第3四半期決算短信(米国基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社
コード番号 4901 URL <https://holdings.fujifilm.com/ja>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 後藤 禎一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 吉澤 ちさと

TEL 03-6271-1111

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,094,260	12.5	202,637	8.7	204,787	1.2	153,735	2.1
2022年3月期第3四半期	1,860,902	18.3	186,453	54.8	207,240	18.5	157,106	24.2

(注) 四半期包括利益 2023年3月期第3四半期 217,351百万円 (7.6%) 2022年3月期第3四半期 202,032百万円 (34.8%)

	基本的1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	383.43	382.85
2022年3月期第3四半期	392.40	391.46

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,148,528	2,718,943	2,694,831	65.0
2022年3月期	3,955,280	2,524,940	2,502,657	63.3

(注) 資本合計(純資産)は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		55.00		55.00	110.00
2023年3月期		60.00			
2023年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に 帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800,000	10.9	260,000	13.2	270,000	3.7	200,000	5.3	498.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2022年12月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	514,625,728 株	2022年3月期	514,625,728 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	113,535,858 株	2022年3月期	113,834,546 株
------------	---------------	----------	---------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	400,752,991 株	2022年3月期3Q	400,302,640 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.6「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 5
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3)	会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 6
4.	四半期連結財務諸表	P. 7
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 7
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
	（四半期連結損益計算書）	P. 9
	【第3四半期連結累計期間】	P. 9
	【第3四半期連結会計期間（3ヶ月）】	P. 10
	（四半期連結包括利益計算書）	P. 11
	【第3四半期連結累計期間】	P. 11
	【第3四半期連結会計期間（3ヶ月）】	P. 11
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
	（継続企業の前提に関する注記）	P. 13
	（セグメント情報）	P. 13
	1) 第3四半期連結累計期間	P. 13
	2) 第3四半期連結会計期間（3ヶ月）	P. 14
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 14
	（重要な後発事象）	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2023年3月期 第3四半期累計		2022年3月期 第3四半期累計		増減額	増減率
国内売上高	34.5%	7,228	38.2%	7,104	124	1.7%
海外売上高	65.5%	13,715	61.8%	11,505	2,210	19.2%
売上高	100.0%	20,943	100.0%	18,609	2,334	12.5%
営業利益	9.7%	2,026	10.0%	1,865	161	8.7%
税金等調整前四半期純利益	9.8%	2,048	11.1%	2,072	△24	△1.2%
当社株主帰属四半期純利益	7.3%	1,537	8.4%	1,571	△34	△2.1%
為替レート (円/米\$)		137 円		111 円	26 円	
為替レート (円/Euro)		141 円		131 円	10 円	

当社グループの2023年3月期第3四半期累計期間における連結売上高は、メディカルシステム、電子材料、イメージング等を中心に売上を伸ばし、20,943億円（前年同期比12.5%増）となりました。

営業利益は、2,026億円（前年同期比8.7%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券評価益の減少等により2,048億円（前年同期比1.2%減）、当社株主帰属四半期純利益は1,537億円（前年同期比2.1%減）となりました。当四半期累計期間の円為替レートは、対米ドルで137円、対ユーロで141円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2023年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
ヘルスケア	6,338	5,767	571	9.9%
マテリアルズ	5,227	4,673	554	11.8%
ビジネスイノベーション	6,141	5,567	574	10.3%
イメージング	3,237	2,602	635	24.4%
連結合計	20,943	18,609	2,334	12.5%

【事業セグメント別の営業利益】

(単位：億円)

セグメント	2023年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
ヘルスケア	606	753	△147	△19.5%
マテリアルズ	595	582	13	2.3%
ビジネスイノベーション	478	419	59	14.2%
イメージング	627	347	280	80.8%
全社費用及び セグメント間取引消去	△280	△236	△44	—
連結合計	2,026	1,865	161	8.7%

※2023年3月期第2四半期累計期間より、プロ市場向け複合機事業等の売上高・営業利益の金額を「ビジネスイノベーション」セグメントから「マテリアルズ」セグメントに組み替えて表示しております。前年同期間についても、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

「ヘルスケア部門」

ヘルスケア部門の連結売上高は、6,338億円（前年同期比9.9%増）となりました。

当部門の営業利益は、606億円（前年同期比19.5%減）となりました。

メディカルシステム事業では、内視鏡、医療IT、超音波診断等の分野を中心に販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。X線画像診断分野では、欧州、東南アジア、中南米を中心にデジタルマンモグラフィシステム「AMULET Innovality」の販売が伸長したことに加え、X線撮影装置「FDR Smart X」、回診用X線撮影装置「FDR Go Plus」の販売が欧州を中心に好調に推移し、売上が増加しました。医療IT分野では、医用画像情報システム(PACS)「SYNAPSE」や3D画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」を中心としたシステム・サービス販売が米国、日本を中心に伸長し、売上が大幅に増加しました。2022年12月にはデジタル病理診断用ソフトウェア等の開発・販売を行っている、米国Inspirata, Inc.のデジタル病理部門を買収することを発表しました。世界トップシェアを誇る当社の医用画像情報システム(PACS)と本デジタル病理診断用ソフトウェアを組み合わせることで院内検査画像の一元化を実現し、病理診断ワークフローの効率化を支援していきます。超音波診断分野では、「Sonosite PX」を中心としたPOC(Point of Care)向け超音波診断装置が米国を中心に堅調に推移したことに加え、据置型超音波診断装置の新製品「ARIETTA 850DI」「ARIETTA 650DI」の販売が日本、欧州を中心に増加しました。内視鏡分野では、粘膜の僅かな色の違いを強調し、内視鏡観察をサポートするLCI(Linked Color Imaging)をはじめとする画像強調機能を搭載した「7000システム」等の販売が欧州を中心に伸長し、売上が大幅に増加しました。体外診断(IVD)分野では、血液生化学検査「富士ドライケム」機器・スライドや、富士フイルム和光純薬株式会社の生化学試薬及び免疫関連の検査機器の販売が好調に推移しました。加えて、国内でのCOVID-19の流行拡大により、COVID-19関連の検査機器・各種試薬の販売が伸長し、売上が増加しました。CT・MRI分野では、半導体等部品不足の影響から回復傾向にあったことや、国内では全身用X線CT診断装置「Supria Optica」、北米では超電導オープンMRI「OASIS Velocity」等の新製品の販売が好調に推移し、売上が増加しました。

バイオCDMO事業では、バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託がデンマーク拠点で堅調に推移したことや、為替影響等により、売上が増加しました。2022年6月には、抗体医薬品の旺盛な製造受託ニーズに対応するデンマーク拠点への大型設備増強、及び培養から精製まで原薬の一貫生産が可能な商業用連続生産システムによるGMP製造設備の米国テキサス拠点への導入を、総額2,000億円を投じて行うことを発表しました。当社は、幅広いバイオ医薬品を対象に生産プロセスの開発受託、小規模生産から大規模生産、原薬から製剤・包装までの製造受託ニーズに応えていきます。また、バッチ生産方式のみならず、連続生産方式による製造受託を通じて製薬企業等に新たな価値を提供し、バイオ医薬品業界におけるベストパートナーを目指します。

ライフサイエンス事業では、COVID-19用ワクチン・治療薬向け培地の需要が一巡した一方で、試薬と細胞が前年から売上が伸長したことや、為替影響等により、事業全体の売上は増加しました。2022年11月には、米国ノースカロライナ州に培地の生産拠点を新設することを発表しました。抗体医薬品の需要増や、細胞治療・遺伝子治療といった先端医療の発展に伴い、培地のグローバル市場は成長が続いています。当社は欧・米・日のグローバル生産体制で、バイオ医薬品の研究開発・製造を強力にサポートしていきます。

医薬品事業では、2022年3月に富士フイルム富山化学株式会社の放射性医薬品事業をペプチドリーム株式会社へ譲渡したこと等により、売上が減少しました。2022年10月には、平時はバイオ医薬品を製造し、パンデミック時はワクチン製造に切り替えられるデュアルユース対応の設備を富士フイルム富山化学株式会社が導入することを発表しました。バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託サービスを製薬会社に提供し、パンデミック時には、受託サービスを通じて製薬企業による国産ワクチンの迅速開発・供給をサポートしていきます。

コンシューマーヘルスケア事業では、ダイエット需要が堅調であった前年同期に対してサプリメントの販売が減少したこと等により、売上が減少しました。2022年12月には、当社独自のリポソーム技術を化粧品分野に応用した高機能美容液シリーズ「ASTALIFT THE SERUM (アスタリフト ザ セラム)」から、刺激ダメージを防ぎ、シミの発生を根本から抑止する薬用シミ予防美容液「ASTALIFT THE SERUM BRIGHTENING (アスタリフト ザ セラム ブライトニング)」(医薬部外品)を2023年3月より販売開始することを発表しました。今後も顧客のニーズを捉えた独自性の高い製品を提供し、人々の美容と健康に貢献していきます。

「マテリアルズ部門」

マテリアルズ部門の連結売上高は、5,227億円（前年同期比11.8%増）となりました。

当部門の営業利益は、595億円（前年同期比2.3%増）となりました。

電子材料事業では、前年度に続き CMP スラリーの販売が好調に推移したことに加え、後工程での用途が拡大したポリイミド等への旺盛な需要をうけ、売上が大幅に増加しました。5G や自動運転の発展に伴い需要が伸びていく先端半導体向けに、幅広い製品を安定的に供給していくことで成長を加速させていきます。2022年9月には当社国内初の CMP スラリー生産設備を熊本に建設することを発表、12月にはイメージセンサー用カラーフィルター材料の工場を韓国に新設することを発表しました。今後もグローバルな生産体制の下、高い品質基準の材料を安定的に生産・提供するとともに、顧客ニーズにあった新規製品の市場導入を加速させ、さらなるビジネス拡大を図っていきます。

ディスプレイ材料事業では、前年度に COVID-19 の流行下でモニター、タブレット及び TV 需要が増加したことの反動や、サプライチェーン全体での生産調整の影響を受け、売上が減少しました。

産業機材事業では、非破壊検査用機器・材料において、オイルガス業界向けの販売が好調に推移したことや、為替影響等により、売上が増加しました。ファインケミカル事業では、重合材料等の化成品の販売が伸長したことにより、売上が増加しました。記録メディア事業では、世界的な景気後退リスクが顕在化する中、大手 IT 企業によるデータセンター建設への投資が抑制されたことで、データアーカイブ用のテープ需要が停滞し、売上が減少しました。

グラフィックコミュニケーション事業では、刷版材料分野において、一部の地域で資材やエネルギー価格高騰によりオフセット印刷需要が停滞しましたが、各地域で販売価格の見直しを実施したこと等が寄与し、売上が増加しました。デジタル印刷分野は、プロダクションプリンターの欧米向け出荷が市況回復に伴い伸長したこと等により、売上が増加しました。

インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドにおいて、欧州の建材印刷市場やテキスタイル市場での需要増により販売が好調に推移し、インクにおいても、ホーム&オフィス市場向け染料インクを中心に販売が伸長し、事業全体で売上が増加しました。

「ビジネスイノベーション部門」

ビジネスイノベーション部門の連結売上高は、6,141 億円（前年同期比 10.3%増）となりました。

当部門の営業利益は、478 億円（前年同期比 14.2%増）となりました。

オフィスソリューション事業では、COVID-19 による中国ロックダウンの影響を受けましたが、複合機・プリンター及び消耗品の国内販売と欧米向け輸出の増加や、東南アジアでの消耗品等の売上回復、為替影響等により、売上が増加しました。2022年10月には、「ApeosPrint」シリーズの新商品として、多種多様な用紙出力に対応し、セキュリティを強化した A3 カラープリンターのフラッグシップモデル「ApeosPrint C5570 / C4570」を発売しました。また、12月にはクラス最小・最軽量※と高速プリントを実現した A3 モノクロプリンター「ApeosPrint 4560 S / ApeosPrint 3960 S / ApeosPrint 3360 S」の3機種を発売しました。同機種は低温で定着する「Super EA-Eco トナー」を採用するとともに、エネルギー消費効率の向上により使用時の環境負荷を低減しています。今後も複合機・プリンターのマーケティングを一層強化し、お客様の要求に迅速に対応することで収益性をさらに高めていきます。また、海外市場に対しては、地域ごとのニーズに対応した商品戦略を構築し、競争優位性を確保するとともに、OEM 供給を含むビジネスの拡大を積極的に進めていきます。

ビジネスソリューション事業では、国内における前年度の法改正対応に伴う自治体向け特需の反動がありましたが、その他のソリューション・サービス売上が国内で増加したことや海外での BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）事業の伸長、為替影響等により、売上が増加しました。2022年5月には、業種別・業務別にお客様の DX 課題解決を強力に支援し、中堅・中小企業の DX を加速する新ソリューション「Bridge DX Library」の提供を開始し、2022年7月には、合計 103 種類のソリューションにラインアップを拡大しました。また、自治体向け DX 支援の一環として、2022年11月には、法人から自治体への住民票の写し請求業務のデジタル化に向けて、自治体・法人との検討ワーキンググループを発足させました。当社グループ会社である富士フイルムシステムサービス株式会社が主幹をつとめる本ワーキンググループには、10 自治体・7 法人が参加しています。今後も、お客様の DX に資するソリューション・サービスメニューの提供と海外展開を加速させ、当部門における中核事業として、ビジネスソリューション事業の成長を目指していきます。

※ モノクロ毎分連続プリント速度 30 枚以上（A4 片面）の A3 モノクロプリンター ApeosPrint 3960 S / ApeosPrint 3360 S の本体体積と重さにおいて。重さは消耗品なしの場合。（2022年10月現在。当社調べ。）

「イメージング部門」

イメージング部門の連結売上高は、3,237億円（前年同期比24.4%増）となりました。

当部門の営業利益は、627億円（前年同期比80.8%増）となりました。

コンシューマーイメージング分野では、インスタントフォトシステム、カラーペーパー、ドライプリント機器及び材料の販売が好調に推移し、売上が増加しました。インスタントフォトシステムは、デバイスとフィルムともに販売が好調に推移し、前年同期を上回る売上となりました。2022年11月には、スマホプリンター“チェキ”「INSTAX SQUARE Link（スクエア リンク）」を発売しました。AR（拡張現実）エフェクトでチェキプリントを個性的に彩る「AR Print」や、離れている人同士でもメッセージ付きチェキプリントが送り合える「INSTAX Connect」等の新たな機能を搭載し、市場から高い評価を受けています。INSTAX“チェキ”は今後もアナログとデジタルの技術を掛け合わせ、世界中の人々に「新たな価値」を提供していきます。

プロフェッショナルイメージング分野では、デジタルカメラの販売が好調に推移し、売上が増加しました。2022年11月には、独自の色再現技術による卓越した画質と小型軽量を実現する「X シリーズ」の最新モデルとして、「写真機」としての進化を遂げたミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-T5」を発売し、豊富なラインアップをさらに拡大しました。また、放送・シネマ用レンズでは、2022年10月に、4Kを超える光学性能を有し、2つの大型センサーに対応するデュアルフォーマット方式を採用した箱型タイプの放送用ズームレンズ「FUJINON HZK25-1000mm」の開発を発表しました。近年、放送業界で利用が進む大型センサー搭載のシネマカメラでの撮影に対応し、浅い被写界深度によるボケ味を生かしたシネマライクな映像表現を、スポーツ中継やライブ・コンサート中継等で実現します。今後も、当社は高性能なカメラ、レンズ、アクセサリ等を開発・提供し、多様化するコンテンツ制作現場のニーズに応えていきます。

(2) 財政状態に関する説明

2023年3月期第3四半期末は、棚卸資産、有形固定資産等の増加により、前期末（2022年3月31日）に比べ、資産が1,932億円増の4兆1,485億円となりました。負債は8億円減の1兆4,296億円となりました。株主資本は1,921億円増の2兆6,948億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ13.2ポイント増の189.3%、負債比率は4.2ポイント減の53.0%、株主資本比率は1.7ポイント増の65.0%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	2023年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	632	2,135	△1,503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,260	△1,152	△1,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213	△779	566

2023年3月期第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の増加等により、前年同期の同キャッシュ・フローに対し1,503億円減の、632億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入等により、2,260億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは1,628億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、213億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の2023年3月期第3四半期末残高は、前期末(2022年3月31日)に比べ1,685億円減少し、3,178億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期業績は、連結売上高は2兆8,000億円(前期比10.9%増)、営業利益は2,600億円(前期比13.2%増)、税金等調整前当期純利益は2,700億円(前期比3.7%増)、当社株主帰属当期純利益は2,000億円(前期比5.3%減)を予想しております。

通期での対米ドル円為替レートを135円、対ユーロ円為替レートを141円で想定しております。

2023年3月期年間配当は、一株当たり120円を予定します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結会計期間末 2022年12月31日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2022年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		317,839	486,328	△ 168,489
受取債権				
営業債権		632,129	570,851	61,278
リース債権		41,696	45,573	△ 3,877
関連会社等に対する債権		1,896	2,354	△ 458
貸倒引当金		△ 19,592	△ 20,144	552
		656,129	598,634	57,495
棚卸資産		621,039	504,467	116,572
前払費用及びその他の流動資産		161,386	135,300	26,086
流動資産 合計		1,756,393	1,724,729	31,664
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		43,002	43,467	△ 465
投資有価証券		78,785	105,329	△ 26,544
長期リース債権		55,588	60,298	△ 4,710
その他の長期債権		20,589	24,963	△ 4,374
貸倒引当金		△ 2,731	△ 3,010	279
投資及び長期債権 合計		195,233	231,047	△ 35,814
有形固定資産				
土地		105,617	104,718	899
建物及び構築物		747,792	739,525	8,267
機械装置及びその他の有形固定資産		1,506,271	1,497,457	8,814
建設仮勘定		267,877	145,084	122,793
		2,627,557	2,486,784	140,773
減価償却累計額		△ 1,740,068	△ 1,749,945	9,877
有形固定資産 合計		887,489	736,839	150,650
その他の資産				
オペレーティング・リース使用权資産		85,963	83,389	2,574
営業権		842,955	824,003	18,952
その他の無形固定資産		150,237	152,691	△ 2,454
その他		230,258	202,582	27,676
その他の資産 合計		1,309,413	1,262,665	46,748
資産 合計		4,148,528	3,955,280	193,248

科目	期別 2023年3月期第3四半期 連結会計期間末 2022年12月31日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2022年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]			
流動負債			
社債及び短期借入金	171,200	200,095	△ 28,895
支払債務			
営業債務	262,974	249,919	13,055
設備関係債務	48,260	51,868	△ 3,608
関連会社等に対する債務	1,466	1,396	70
	312,700	303,183	9,517
未払法人税等	34,822	21,453	13,369
未払費用	219,465	226,830	△ 7,365
短期オペレーティング・リース負債	31,906	31,494	412
その他の流動負債	157,524	196,520	△ 38,996
流動負債 合計	927,617	979,575	△ 51,958
固定負債			
社債及び長期借入金	306,057	247,101	58,956
退職給付引当金	23,980	27,927	△ 3,947
長期オペレーティング・リース負債	58,261	56,866	1,395
その他の固定負債	113,670	118,871	△ 5,201
固定負債 合計	501,968	450,765	51,203
負債 合計	1,429,585	1,430,340	△ 755
[純資産の部]			
株主資本			
資本金	40,363	40,363	-
普通株式			
発行可能株式総数 800,000,000株			
発行済株式総数 514,625,728株			
利益剰余金	2,997,281	2,867,848	129,433
その他の包括利益累積額	137,478	75,993	61,485
自己株式	△ 480,291	△ 481,547	1,256
株主資本 合計	2,694,831	2,502,657	192,174
非支配持分	24,112	22,283	1,829
純資産 合計	2,718,943	2,524,940	194,003
負債・純資産 合計	4,148,528	3,955,280	193,248

(注)その他の包括利益累積額 内訳

	2022年12月31日現在	2022年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	△ 155	27	△ 182
為替換算調整額	208,605	148,700	59,905
年金負債調整額	△ 71,196	△ 72,780	1,584
デリバティブ未実現損益	224	46	178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第3四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別		2023年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日		2022年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日		増減 (△は減少)	
							増減額	増減率
	%		%					%
売上高	100.0	2,094,260	100.0	1,860,902			233,358	12.5
売上原価	59.8	1,252,475	57.8	1,076,403			176,072	16.4
売上総利益	40.2	841,785	42.2	784,499			57,286	7.3
営業費用								
販売費及び一般管理費	25.0	524,210	26.2	486,105			38,105	7.8
研究開発費	5.5	114,938	6.0	111,941			2,997	2.7
	30.5	639,148	32.2	598,046			41,102	6.9
営業利益	9.7	202,637	10.0	186,453			16,184	8.7
営業外収益及び費用(△)								
受取利息及び配当金		5,248		4,041			1,207	
支払利息		△ 2,555		△ 1,663			△ 892	
為替差損益・純額		△ 3,287		471			△ 3,758	
持分証券に関する損益・純額		△ 3,432		5,874			△ 9,306	
その他損益・純額		6,176		12,064			△ 5,888	
	0.1	2,150	1.1	20,787			△ 18,637	△ 89.7
税金等調整前四半期純利益	9.8	204,787	11.1	207,240			△ 2,453	△ 1.2
法人税等	2.6	53,409	3.1	57,122			△ 3,713	△ 6.5
持分法による投資損益	0.2	3,565	0.6	10,330			△ 6,765	△ 65.5
四半期純利益	7.4	154,943	8.6	160,448			△ 5,505	△ 3.4
控除:非支配持分帰属損益	△ 0.1	△ 1,208	△ 0.2	△ 3,342			2,134	△ 63.9
当社株主帰属四半期純利益	7.3	153,735	8.4	157,106			△ 3,371	△ 2.1

【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2022年10月1日 至 2022年12月31日		2022年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2021年10月1日 至 2021年12月31日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
		%		%			%
売上高		100.0	744,329	100.0	655,768	88,561	13.5
売上原価		59.6	443,258	57.6	377,622	65,636	17.4
売上総利益		40.4	301,071	42.4	278,146	22,925	8.2
営業費用							
販売費及び一般管理費		24.2	180,813	24.9	163,391	17,422	10.7
研究開発費		5.2	38,431	5.5	36,164	2,267	6.3
		29.4	219,244	30.4	199,555	19,689	9.9
営業利益		11.0	81,827	12.0	78,591	3,236	4.1
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			2,241		1,595	646	
支払利息			△ 752		△ 570	△ 182	
為替差損益・純額			△ 7,618		1,324	△ 8,942	
持分証券に関する損益・純額			△ 2,922		△ 8,007	5,085	
その他損益・純額			2,477		4,406	△ 1,929	
		△ 0.9	△ 6,574	△ 0.2	△ 1,252	△ 5,322	425.1
税金等調整前四半期純利益		10.1	75,253	11.8	77,339	△ 2,086	△ 2.7
法人税等		2.5	18,425	3.2	20,887	△ 2,462	△ 11.8
持分法による投資損益		0.2	1,480	0.9	5,616	△ 4,136	△ 73.6
四半期純利益		7.8	58,308	9.5	62,068	△ 3,760	△ 6.1
控除:非支配持分帰属損益		0.1	264	△ 0.2	△ 1,220	1,484	△ 121.6
当社株主帰属四半期純利益		7.9	58,572	9.3	60,848	△ 2,276	△ 3.7

(四半期連結包括利益計算書)

【第3四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結累計期間	2022年3月期第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日	自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日	
四半期純利益		154,943	160,448	△ 5,505
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益		△ 182	6	△ 188
為替換算調整額		60,858	39,736	21,122
年金負債調整額		1,554	1,982	△ 428
デリバティブ未実現損益		178	△ 140	318
合計		62,408	41,584	20,824
四半期包括利益		217,351	202,032	15,319
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		△ 2,131	△ 3,964	1,833
当社株主帰属四半期包括利益		215,220	198,068	17,152

【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結会計期間	2022年3月期第3四半期 連結会計期間	増減 (△は減少)
		自 2022年10月 1日 至 2022年12月31日	自 2021年10月 1日 至 2021年12月31日	
四半期純利益		58,308	62,068	△ 3,760
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益		△ 258	2	△ 260
為替換算調整額		△ 90,034	32,951	△ 122,985
年金負債調整額		497	687	△ 190
デリバティブ未実現損益		143	28	115
合計		△ 89,652	33,668	△ 123,320
四半期包括利益(△損失)		△ 31,344	95,736	△ 127,080
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		1,810	△ 1,781	3,591
当社株主帰属四半期包括利益(△損失)		△ 29,534	93,955	△ 123,489

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結累計期間	2022年3月期第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日	自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		154,943	160,448	△ 5,505
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		106,734	97,740	8,994
(2) 持分証券に関する損益		3,432	△ 5,874	9,306
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		△ 2,960	△ 9,959	6,999
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の増加(△)・減少		△ 46,773	35,359	△ 82,132
棚卸資産の増加(△)		△ 108,312	△ 66,141	△ 42,171
営業債務の増加		9,507	7,881	1,626
前払費用及びその他の流動資産の増加(△)		△ 16,576	△ 13,836	△ 2,740
未払法人税等及びその他負債の増加・減少(△)		△ 29,443	1,549	△ 30,992
(5) その他		△ 7,322	6,312	△ 13,634
小計		△ 91,713	53,031	△ 144,744
営業活動によるキャッシュ・フロー		63,230	213,479	△ 150,249
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 191,004	△ 90,858	△ 100,146
2. ソフトウェアの購入		△ 35,638	△ 26,961	△ 8,677
3. 投資有価証券の売却及び満期償還		28,006	11,925	16,081
4. 投資有価証券の購入		△ 3,316	△ 2,211	△ 1,105
5. 定期預金の増加(純額)		△ 3,855	△ 2,316	△ 1,539
6. 関連会社投融資及びその他貸付金の増加		△ 512	△ 454	△ 58
7. 事業の買収 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△ 15,428	1,291	△ 16,719
8. その他		△ 4,232	△ 5,650	1,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 225,979	△ 115,234	△ 110,745
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		120,164	2,362	117,802
2. 長期債務の返済額		△ 91,684	△ 31,340	△ 60,344
3. 満期日が3ヵ月以内の短期債務の減少(△)(純額)		△ 639	△ 1,900	1,261
4. 親会社による配当金支払額		△ 46,109	△ 43,032	△ 3,077
5. 非支配持分への配当金支払額		△ 372	△ 777	405
6. 自己株式の取得及び売却		△ 18	△ 24	6
7. 非支配持分との資本取引その他		△ 2,640	△ 3,162	522
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 21,298	△ 77,873	56,575
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		15,558	9,881	5,677
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		△ 168,489	30,253	△ 198,742
VI. 現金及び現金同等物期首残高		486,328	394,795	91,533
VII. 現金及び現金同等物期末残高		317,839	425,048	△ 107,209

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1) 第3四半期連結累計期間

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結累計期間		2022年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2022年4月1日 至 2022年12月31日		自 2021年4月1日 至 2021年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
ヘルスケア :							
外部顧客に対するもの		30.2	633,777	31.0	576,728	57,049	9.9
セグメント間取引			48		58	△ 10	-
計			633,825		576,786	57,039	9.9
マテリアルズ :							
外部顧客に対するもの		25.0	522,655	25.1	467,348	55,307	11.8
セグメント間取引			913		974	△ 61	-
計			523,568		468,322	55,246	11.8
ビジネスイノベーション :							
外部顧客に対するもの		29.3	614,079	29.9	556,661	57,418	10.3
セグメント間取引			6,768		2,929	3,839	-
計			620,847		559,590	61,257	10.9
イメージング :							
外部顧客に対するもの		15.5	323,749	14.0	260,165	63,584	24.4
セグメント間取引			1,967		1,710	257	-
計			325,716		261,875	63,841	24.4
セグメント間取引消去			△ 9,696		△ 5,671	△ 4,025	-
連結 合計		100.0	2,094,260	100.0	1,860,902	233,358	12.5

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結累計期間		2022年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2022年4月1日 至 2022年12月31日		自 2021年4月1日 至 2021年12月31日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
ヘルスケア		9.6	60,627	13.1	75,317	△ 14,690	△ 19.5
マテリアルズ		11.4	59,519	12.4	58,198	1,321	2.3
ビジネスイノベーション		7.7	47,793	7.5	41,855	5,938	14.2
イメージング		19.3	62,732	13.3	34,703	28,029	80.8
計			230,671		210,073	20,598	9.8
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 28,034		△ 23,620	△ 4,414	-
連結 合計		9.7	202,637	10.0	186,453	16,184	8.7

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

ヘルスケア :

メディカルシステム機材、バイオ医薬品製造開発受託、
細胞・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品・サプリメント等

マテリアルズ :

電子材料、ディスプレイ材料、産業機材、ファインケミカル、記録メディア、
グラフィックコミュニケーションシステム機材、インクジェット機材等

ビジネスイノベーション :

デジタル複合機、ソリューション・サービス等

イメージング :

インスタントフォトシステム、カラーフィルム、
写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、デジタルカメラ、光学デバイス等

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日		2022年3月期第3四半期 連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年12月31日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		34.5	722,759	38.2	710,401	12,358	1.7
海外 :							
米州		23.3	488,110	21.2	394,912	93,198	23.6
欧州		15.2	318,014	13.3	248,243	69,771	28.1
アジア及びその他		27.0	565,377	27.3	507,346	58,031	11.4
計		65.5	1,371,501	61.8	1,150,501	221,000	19.2
連結 合計		100.0	2,094,260	100.0	1,860,902	233,358	12.5

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

2) 第3四半期連結会計期間(3ヶ月)

【事業セグメント別売上高】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2022年10月1日 至 2022年12月31日		2022年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2021年10月1日 至 2021年12月31日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
ヘルスケア		29.2	217,655	30.6	201,136	16,519	8.2
マテリアルズ		22.9	170,674	24.3	159,493	11,181	7.0
ビジネスイノベーション		29.0	215,656	28.0	183,287	32,369	17.7
イメージング		18.9	140,344	17.1	111,852	28,492	25.5
連結 合計		100.0	744,329	100.0	655,768	88,561	13.5

(注)各区分に属する主要な製品の名称

ヘルスケア :	メディカルシステム機材、バイオ医薬品製造開発受託、 細胞・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品・サプリメント等
マテリアルズ :	電子材料、ディスプレイ材料、産業機材、ファインケミカル、記録メディア、 グラフィックコミュニケーションシステム機材、インクジェット機材等
ビジネスイノベーション :	デジタル複合機、ソリューション・サービス等
イメージング :	インスタントフォトシステム、カラーフィルム、 写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、デジタルカメラ、光学デバイス等

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2023年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2022年10月1日 至 2022年12月31日		2022年3月期第3四半期 連結会計期間 自 2021年10月1日 至 2021年12月31日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		32.8	244,186	36.5	239,115	5,071	2.1
海外 :							
米州		24.5	182,724	22.0	144,290	38,434	26.6
欧州		15.9	118,372	14.4	94,666	23,706	25.0
アジア及びその他		26.8	199,047	27.1	177,697	21,350	12.0
計		67.2	500,143	63.5	416,653	83,490	20.0
連結 合計		100.0	744,329	100.0	655,768	88,561	13.5

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、会社法第178条の規定に基づき、下記のとおり自己株式を消却することを決議しました。

1. 消却する株式の種類：当社普通株式
2. 消却する株式の総数：100,000,000株(消却前の発行済株式の総数に対する割合 19.4%)
3. 消却予定日：2023年2月28日

(ご参考)

消却後の発行済株式の総数：414,625,728株

消却後の自己株式数：13,535,858株

(上記自己株式数は、2022年12月31日現在の自己株式数を基準に算出)